

令和7年度 山寺小中学校の学校経営について

I 学校の教育目標

郷土「山寺」を愛し、社会に役立つ人間の育成

考える子ども
(確かな学力)

助け合う子ども
(豊かな心)

たくましい子ども
(健やかな体)

地域に根ざし、「学び」と「交流」を中核とした教育活動の推進

『つながり』



『人』と『心』

『学習』と『学校』

『地域』と『文化』

3 基本方針に迫るための重点及び教育活動

チャレンジ(挑戦)！ みんなが笑顔になる学校をつくろう

- (1) **なんで？探究心** ⇨ 授業・交流・体験
- (2) **正しさと優しさ** ⇨ 明るいあいさつ・いじめをしないたくましさ
- (3) **郷土「山寺」の魅力**を世界へ伝えよう

※失敗を恐れず挑戦し、失敗から学び、何度もやり直すのが学校です。

○人と心をつなぐ ⇨ **みんなが笑顔 みんなが幸せ**

- ・ 明るいあいさつと歌声が響く学校を目指します。
- ・ いじめのない安心安全な学校を目指します。
- ・ 一人ひとりが主人公の学校。全ての児童生徒が活躍できる場所、絆づくりを目指します。

○家庭学習と学校をつなぐ ⇨ **基礎学力の定着と生活習慣の確立(個別最適化)**

- ・ 「わかる→楽しい→もっと学びたい」の好循環の授業改善
- ・ 一人一台「タブレット」の授業や家庭学習での活用

○学校と地域と文化をつなぐ ⇨ **世界の山寺 → 郷土愛 → 地域貢献**

- ・ 9年間を見通した「地域探究活動」の充実
- ・ 地域の先生の拡充、小中合同句会、一日総合 DAY
- ・ 「山寺小・中学校で学ぶ」良さを実感できる取組みの更なる充実を目指し、49年

後の 200 周年、中学校は 22 年後の 100 周年で支える側に立つ文化を育てます。

○相談機能の充実を目指す 相談できる環境 居場所づくり(チーム山寺)

- ・教育相談の機会（小学校から中学校への進学時）
- ・授業参観後など、学校来校時に相談できる機会の設定
- ・一人ひとりのニーズに応じたきめ細やかな支援体制の充実

4 児童生徒数 児童生徒数（小学校29名・中学校12名 合計41名）

【小学校】

1年		2年		3年		4年		5年		6年	
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
0	2	4	1	2	1	6	1	0	2	4	3
2		5		3		7		2		7	
なかよし②								なかよし①			
男1								女1		男1	

【中学校】

1年		2年		3年	
男	女	男	女	男	女
1	1	4	0	0	6
2		4		6	

5 特認校制度による小学校転入転学について

転入転学の手続きは、山形市教育委員会で行います。どの学年も受け入れ可能ですが、転入学は、原則として年度初め（4月1日）からとなります。

〔参考：特認校入学条件〕

- ① 山形市在住であること
- ② 特認校の教育趣旨に賛同（PTA 活動等への協力含む）
- ③ 特別な教育的支援が必要でないこと

6 教員の働き方を推進しています

一番の目的は、児童生徒に対し質の高い教育を提供し、児童生徒に力をつけることです。教育活動の精選を図りながら、教職員が日々の授業力の向上につながる教材研究の時間や子どもと対話する時間をつくりだすため、保護者、地域の皆様とともに教員の働き方改革を実現してまいりたいと存じます。教員の働き方改革の実現は、子どもたちの笑顔と幸せにつながると考えています。ご理解とご協力をお願いいたします。